令和４年度

高知赤十字病院　臨床指標

臨床指標（クリニカル・インディケーター）とは、医療の質に関する項目を具体的な指標（数値）として示したものです。
この指標を分析し、改善を促すことにより、今後もさらなる医療の質の向上に努めてまいります。

目次

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

1.診療環境と機能に関する指標

（1）病床使用率

（2）平均在院日数

（3）紹介率

（4）逆紹介率

（5）救急車台数

（6）救急車応需状況

（6）-1　受入件数

（6）-２　不応需件数

（7）1日平均外来患者数

（8）1日平均入院患者数

（9）全手術件数

（10）患者満足度

2.医療の安全と質の向上に関する指標

（1）再入院率（30日以内）

（2）死亡患者数と死亡率

（2）-1　死亡患者数

（2）-２　死亡率

（3）剖検率

（4）褥瘡発生率

（5）入院患者の転落・転倒発生率

3.職員の健康管理に関する指標

（1）職員の健康診断率

（2）職員のインフルエンザ予防接種率

4.職員や指導医などに関する指標

（1）職員の状況

（2）産休数・育児休暇数

（3）看護

（4）医療技術

（5）指導医の研修に対する割合

（6）職員満足度

5.産科医療に関する指標

（1）総分娩数

（2）帝王切開率

（3）ハイリスク分娩数

（4）ハイリスク分娩率

6.がん医療に関する指標

（1）がん登録（初回治療症例件数）

（2）来院経路

（3）がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会修了者数

（4）日本がん治療認定機構のがん治療認定医数

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（1）病床利用率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
85.0%	83.1%	78.3%	83.6%	84.4%

■算出定義

分子	延在院患者数
分母	許可病床数×年間入院診療日数

■説明

病床がどの程度効率的に活用されているかを示す指標です。

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（2）平均在院日数

（日）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
11.6	10.3	10.0	10.2	11.0

■算出定義

分子	毎日24時現在延在院患者数
分母	新入院患者数＋新退院患者数×2

■説明

病院全体で一人の患者さんが平均何日入院しているかを示す指標です。
効率的な医療を提供し、患者さんの早期社会復帰や地域医療連携を促進しているかを表す指標になります。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（3）紹介率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
68.8%	74.0%	77.9%	76.1%	69.6%

■算出定義

分子	紹介患者数
分母	初診患者数－休日・夜間に受診した救急患者数と救急車で搬送された患者数

（4）逆紹介率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
126.9%	125.6%	128.9%	121.5%	105.8%

■算出定義

分子	逆紹介患者数
分母	初診患者数－休日・夜間に受診した救急患者数と救急車で搬送された患者数

■説明

紹介率・逆紹介率は、病院が地域医療支援病院として地域の病院・診療所との連携をどのくらい密に図っているかを示す指標です。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（5）救急車台数　　（台）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6125	5655	5640	6396	6008

■説明

当院に救急車で搬送された患者さんの総数です。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（6）救急車応需状況

（6）-1　受入件数　（件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二次救急	1852	1918	2016	2246	2009
三次救急	1430	1338	1559	1619	1507

■算出定義

二次救急は中等症のみ、三次救急は重症のみ、その他、不明、軽症は数に含めず

■説明

二次救急（中等症のみ）、三次救急（重症のみ）の受入件数を示す指標です。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（6）-2　不応需件数

二次救急　（件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
満床	6	27	1	60	679
処置不能	51	111	143	143	522
その他	70	98	104	105	167
件数	127	236	248	308	1368

三次救急　（件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
満床	2	11	0	33	200
処置不能	52	75	59	88	153
その他	30	50	22	13	41
件数	84	136	81	134	394

■説明

二次救急（中等症のみ）、三次救急（重症のみ）の不応需件数を示す指標です。
不応需理由は病棟満床のため、処置不能（救急重複、手術対応不可、特殊科）のため、その他（輪番をすすめた、かかりつけ医をすすめた等）のための３つに分類して数値化しています。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（7）1日平均外来患者数　（人）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
525.6	486.8	430.6	452.5	447.6

■説明

1日あたり平均して何人の患者さんが外来を受診されたかを示す指標です。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（8）1日平均入院患者数　（人）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
348.9	324.9	314.7	331.1	334.1

■説明

1日あたり平均して何人の患者さんが入院されたかを示す指標です。

1.診療環境と機能に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（9）全手術件数　　（件）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6130	6244	6305	6736	6268

■算出定義

保険解釈上の手術行為かつ保険請求で1,000点以上の件数です。

■説明

当院で実施した手術件数を示す指標です。

2.医療の安全と質の向上に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（1）再入院率（30日以内）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
2.9%	3.2%	3.0%	2.8%	2.6%

■説明

退院した日から30日後までに再入院した割合を示す指標です。

2.医療の安全と質の向上に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（2）-1　死亡患者数（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
死亡患者数	310	239	245	249	239
48時間以内死亡を除く死亡患者数	264	198	166	197	169

（2）-2　死亡率

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
死亡率	2.9%	2.2%	2.3%	2.3%	2.3%
48時間以内死亡患者数を除く死亡率	2.4%	1.8%	1.6%	1.8%	1.6%

■算出定義

死亡率

分子	死亡患者数×100
分母	退院患者数

48時間以内の死亡患者数を除く死亡率

分子	死亡患者数ー（48時間以内の死亡患者数）×100
分母	退院患者数

■説明

入院以前の問題によるところが大きいと考えられる48時間以内の死亡患者数を除いた割合で、治療結果を評価する場合は、この死亡率を用いた方が良いと考えられています。

2.医療の安全と質の向上に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（4）剖検率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
7.1%	3.4%	1.6%	3.7%	2.9%

■算出定義

分子	剖検数×100
分母	死亡患者数

■説明

入院中に死亡した患者数に対し、病理解剖（剖検）した患者数の割合を示す指標です。

剖検結果はその後の診療や研修医の育成にも役立つため剖検率は医療の質を反映しています。

（5）褥瘡発生率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0.035%	0.034%	0.024%	0.032%	0.037%

■算出定義

分子	調査日に褥瘡を保有する患者数－入院時に褥瘡保有が記録されていた患者数
分母	調査日の施設入院患者数

■説明

院内で新規に褥瘡を発症した患者さんの割合を示す指標です。

【ｄ２（真皮までの損傷）以上の褥瘡を対象とした】

（6）入院患者の転落・転倒発生率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
0.16‰	0.16‰	0.16‰	0.18‰	0.18‰

■算出定義

分子	入院中の患者に発生した転倒・転落件数
分母	入院患者延べ日数（人日）

■説明

入院中に転落・転倒した患者さんの割合を示す指標です。

3.職員の健康管理に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（1）職員の健康診断率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
91.5%	91.7%	100.0%	100.0%	99.9%

■算出定義

分子	健康診断を受けた職員数
分母	職員数（休職中の職員は除く）

■説明

健康診断は、職員の安全と健康を確保するために、全職員に実施することが労働安全衛生法により義務付けられています。
特に病院職員は直接患者さんと接する機会が多いため、日ごろから各自で健康管理を行うことが重要です。

3.職員の健康管理に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（2）職員のインフルエンザ予防接種率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
96.2%	96.7%	97.8%	96.9%	93.7%

■算出定義

分子	インフルエンザワクチンを予防接種した職員数
分母	職員数（休職中の職員は除く）

■説明

病院職員のインフルエンザ予防接種率は、患者さんの安全にかかわる問題です。

定期的に予防接種を受けることが患者さんの安全につながります。

5.職員数や指導医数などに関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（1）職員の状況（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
医師	112	114	111	115	122
看護師	483	487	492	498	497
医療技術	120	118	123	121	122
事務	101	99	106	106	103
合計	816	818	832	840	844

■説明

当院の職員数です。

5.職員数や指導医数などに関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（2）産休数・育児休暇数（人）　　（ ）は男性取得者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
産休数	29	32	29	21	32
育児休暇数	52 (0)	49 (1)	51 (1)	55 (1)	68 (7)

■説明

産休取得者及び育児休暇取得者の人数です。

5.職員数や指導医数などに関する指標

（3）看護（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
看護師	460	467	471	498	497
助産師（再掲）	23	20	21	35	34
看護補助者	46	46	48	58	42

■算出定義

【看護師】看護師,准看護師,助産師,保健師

【助産師】助産師再掲　【看護補助者】クラーク,助手,介護員

■説明

看護業務に携わる職員の内訳人数です。

看護師には准看護師、助産師、保健師が含まれています。

5.職員数や指導医数などに関する指標

（4）医療技術（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
薬剤師	22	18	21	20	22
検査技師	29	29	29	29	29
放射線技師	21	22	22	22	22
理学療法士	17	17	17	17	17
作業療法士	6	6	6	6	6
言語聴覚士	3	3	3	3	3
臨床工学技士	12	14	15	16	15
管理栄養士	9	8	9	7	7
心理判定員	1	1	1	1	1

■説明

医療技術職に携わる職員の内訳人数です。

5.職員数や指導医数などに関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（5）初期研修医１人あたりの指導医数（人）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
指導医	45	45	47	40	41
初期研修医	17	17	20	20	20
1人あたりの指導医数	2.6	2.6	2.4	2.0	2.1

■算出定義

分子	指導医（人数）
分母	研修医（人数）

■説明

臨床研修医に対する良質な教育体制を整えるため、優れた指導医の存在は必須です。

指導医とは厚生労働省が定める指導医講習会を受講し、修了した医師のことを指しますが、研修医一人当たりの指導医の割合が多いほど研修医指導に力を入れている施設であるといえます。

5.職員数や指導医数などに関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（5）職員満足度

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
33%	48%	37%	45%	38%

■算出定義

分子	分母のうち「強くそう思う」または「ややそう思う」と回答した職員数
分母	職員満足度調査項目「友人や家族が病気や怪我を患ったときに、あなたの施設を薦めたいと思いますか？」の設問有効回答数

■説明

職員自身が内部からの視点で医療を評価したものであり、働きがいや職場環境等を評価した職場満足度とは若干意味合いが異なるかもしれません。

6.産科医療に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（1）総分娩数　　（件）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
分娩経膣	381	434	523	440	527
帝王切開	165	166	177	193	196
総分娩数	546	600	700	633	723

説明

帝王切開を含めた年間分娩数です。

6.産科医療に関する指標

（2）帝王切開率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
30.2%	27.7%	25.3%	30.5%	27.1%

■算出定義

分子	帝王切開数
分母	総分娩数

■説明

総分娩数に対する帝王切開の割合を表しています。

6.産科医療に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 高知赤十字病院

（3）ハイリスク分娩数　（件）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
34.5	31.5	33	38	46

■算出定義

ハイリスク分娩加算ありの数

■説明

ハイリスク分娩とは、母子の生命や健康に重大な影響を与える危険性のある妊娠・分娩のことです。
ハイリスク分娩管理を行った場合、加算点数が算定されますが、当院で加算対象となった人数を計上しています。

6.産科医療に関する指標

日本赤十字社 高知赤十字病院
Japanese Red Cross Society

（4）ハイリスク分娩率

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6.3%	5.3%	4.7%	6.0%	6.4%

■算出定義

分子	ハイリスク分娩管理加算
分母	総分娩数

■説明

総分娩数に対するハイリスク分娩の割合を表しています。

7.がん医療に関する指標

日本赤十字社 高知赤十字病院
Japanese Red Cross Society

（1）がん登録（件）【初回治療症例件数】

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
内科	274	284	309	374	371
外科	310	355	323	364	302
脳神経外科	7	9	11	12	17
整形外科	0	1	1	0	0
小児科	0	1	0	0	0
産婦人科	66	76	105	76	72
耳鼻咽喉科	31	23	31	36	31
放射線科	2	11	22	18	19
皮膚科	0	7	8	9	7
泌尿器科	99	87	125	137	110
形成外科	35	31	19	27	27
心臓血管外科	0	0	0	1	0
合計	824	885	954	1054	956

■算出定義

期間は1/1～12/31

■説明

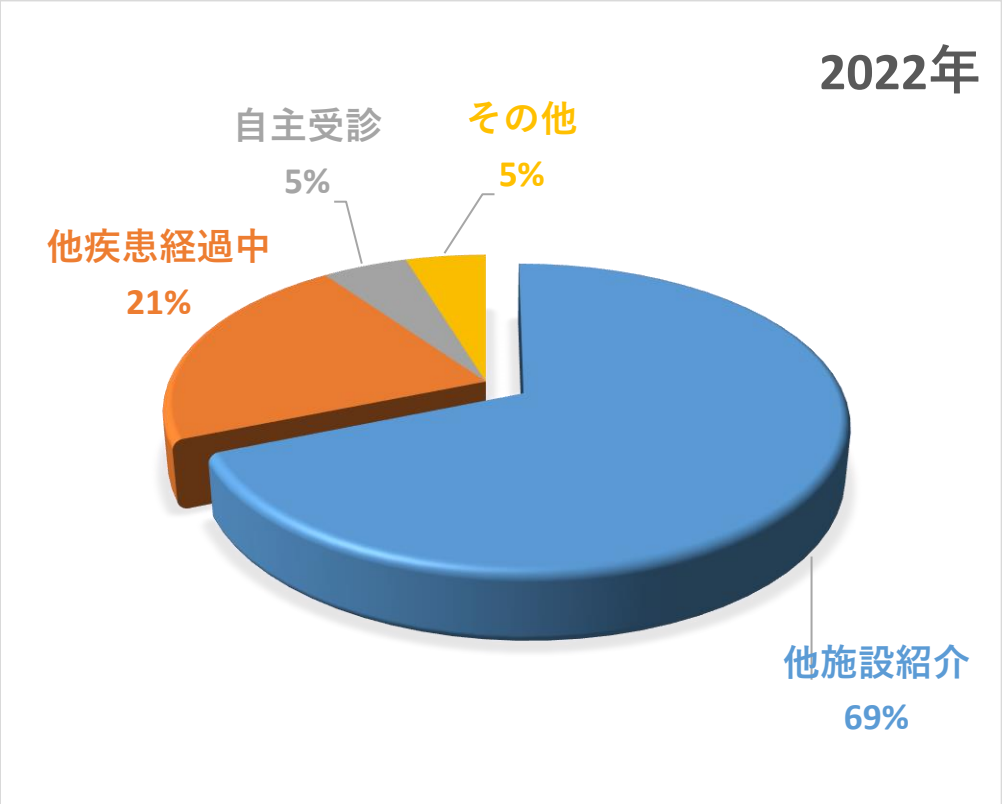
がん登録とは、国民向けに国立がん研究所が、がんの診断、治療、経過等に関

する情報を都道府県や医療機関などから集め、保管、整理、解析する仕組みのことです。
これにより、どのくらいの人が新たにがんと診断されているか、がんと診断された人がどのくらいの割合で生存、死亡しているかなどがんに関する統計情報を出すことができます。

7.がん医療に関する指標

日本赤十字社 Japanese Red Cross Society　高知赤十字病院

（2）来院経路【初回治療症例件数】



■算出定義

期間は1/1～12/31

■説明

がんの診療や治療開始のためにどのような経路で当院を受診されたかを表しています。

他施設紹介が6割以上を占めており、地域の医療機関からみた当院の医療に対する信頼性がわかります。

7.がん医療に関する指標

日本赤十字社 高知赤十字病院
Japanese Red Cross Society

（3）がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会修了者数（人）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
54	60	55	59	64

■説明

がん等の診療に携わる医療従事者が、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することを目的とした研修会を修了した人数を表しています。

『緩和ケアとは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のクオリティ・オブ・ライフ（QOL：生活の質）を、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチである。』

（『日本緩和医療学会「WHO（世界保健機関）による緩和ケアの定義（2002）」定訳』）

7.がん医療に関する指標

（4）日本がん治療認定機構のがん治療認定医数（人）

平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
12	11	11	11	11

■説明

がん治療の共通基盤となる臨床腫瘍学の知識およびその実践を支える基本的技術に習熟し、医療倫理に基づいたがん治療を実践する優れた医師の人数です。

■参考

日本がん治療認定医機構　https://www.jbct.jp/